

# 水産

第 20 号

33-8-26

## 目 次

卷 頭 言 . . . . .	場 長	1
昭和 33 年度先進地視察特集 . . . . .	塩 田 記	3
先進地視察報告記 . . . 調査部	又 木 勝 弘	12
日本沿岸先進地漁村を視察して . . . . .	原 口 義 雄	16
かえるのたわごと . . . . .	龍 田 敦 彦	20

視 察 感 想 録	終 日 修 : 中 爽 栄 一	
	阿 部 辰 巳 : 小 畑 享	24
	早 崎 勲 : 浜 崎 弘 幸	

先進地漁業技術公開 . . 漁業部	塩 田 正 人	31
質 問 欄 . . . . .	調 査 部	36
本 場 日 記 . . . . .	編 集 部	37
分 場 日 記 . . . . .	大 島 分 場	39
編 集 後 記 . . . . .	編 集 部	

鹿兒島県水産試験場

戦後は電話事業も公社経営にかわり新規増設もわり合スムーズに行われているらしいが、戦前ある時ある所で新規加入を計画してどうしてもわり当がもらえず正当架設料の何十倍かの電話相場価格を支払つてブローカーから権利を買えば即刻つけてもらえることが判つた。

1/1=2という判断にならされた頭ではどう考えても不都合不合理的なことである。架設費用の予算が足らなければ架設料を値上げして需要に応じたらよい筈だ。調べてみると架設権が売買の対象となつたり、金融の但保となつている金額の全国合計が巨額に達していて、これに影響を与えない範囲で其の筋で増設を極力制限しているらしいことが判つた。日本でも水道や電気やガスの増設には権利金はいらぬ。外国の文化国家ではそれこそ電話一本で電話をつけてくれるそうだ。前記の状態は初めにこれ位のワクで良かろうと決めた官営事業に伴い勝のいろいろな制約や特権意識の結果であり、後にはその不合理さが痛切に判つても既に身動きがとれないといつた様なことであろう。

事柄はちがうが漁業の許可制度のある部分にはこれと共通の現象がある様な気がする。関係者のすべてはまじめに事務処理に當つているのであるが、一たんワクをはめ権利化すると今度は利権に振り廻わされて身動きがとれなくなる。資本主義自由経済の立場であればもつと優勝劣敗、弱肉強食を認めて権利化しない方がよかろう。

沿岸弱小漁民保護という社会主義的立場であれば科学的資料無しに能率漁法を沿岸海域に入れない方がよかろう。科学的資料が無ければこれを得るように国をあげて努力し、得られるまで待つがよい。魚が多かつたから許可をもらつて操業したのだから魚が少なくなつて経営が苦しくなつたら事業を中止すべきで、他のギセイに於て継続させる義理はあるまい。

いづれにしても莫の沿岸漁業振興はゴツクなありきたりの手段ではむづかしい。いつそのこと能率漁法で一風は沿岸資源をゴツクリかきまわし、漁村から半失業人口が転出してから対策を実施しなければ。今の水産技術改良位で問題は解決しないと云つたら破れカブレの暴言だろうか。北海道の稲作地帯で普及員がいくら指導してもついて来なかつたのが去年の冷害のため収穫皆無と云うひどい状態のところほど今年は品種の選定、苗代づくり、施肥その他全般に技術改良が農民側からの熱心な希望で実行され、ある普及員は2000キロも自転車でかけまわされるほど引っぱりだこだつたそうだ。

気象条件が今年も昨年比べてあまり変わらないのに平年作を上まわる見込みであるが、この結果から見ると去年の無収穫に近い冷害も長い目でみればプラスになつたとまで云われている。沿岸漁業振興もツギハギ細工を止めて行くところまで行かせてから出直した方が却つて早道かも知れない。(といつても鎮痛剤の準備だけは国や県の方で責任をもつて貰わねばならないわけだが)。

先進地視察報告

昭和32年度漁業先進地視察参加者

氏名	所属
源口 義雄	額娃町役場
下鶴 政吉	南木野市羽島漁協小型動力船組合員
藤田 政彦	薩摩郡下としき村青瀬漁協専務
茶園 修	枕崎市労働組合常任委員
早崎 勲	出水郡東町瀧輪水産研究会
阿部 辰己	肝付郡牛根町水産振興会長
川野 利幸	東申良水産振興会々長
川崎 弘	指宿市水産振興会長
川畑 一	川辺郡笠沙町片浦青年団
中丸 榮	串木野市本浦小型船組合長
大良 友一	薩摩郡上としき村管内漁協

視察実施表

月日	発時刻	着時刻	航走時間	地名	視察場所並に時間その他
17.11	11.55		170哩(25.5時)	鹿兒島	10.00本場に於て結団式乗船出発
2	12	13.30		勝本	長崎県奄岐郡勝本町、勝本漁協 組合長外5名 青年部23名 14.00-18.30 (漁協運営、漁協状況、青年活動、漁業技術)
"	22.00	7.00	90哩(8時)	"	夜航海
3	13			黄波戸	山口県黄波戸漁協並に青年クラブ (公民館) 漁協運営、漁協状況、青年活動、漁業技術、公民館活動 (夕燈による説明) 8.00-10.00 組合長外3名 青年部3名 公民館長1名
"	21.00			"	夜航海
4	14	9.00	80哩(11時)	仁高	長崎県仁高町 漁協運営、漁協状況、青年活動、組合長外5名 青年部8名 9.00-13.00
"	14.00	16.30	2.5哩(2.5時)	大社	山梨大見学

5	7.15	4.40	10.15	50 漕 (6時)	大社 美保関	島根県美保関漁協 10.40— 16.30 組合長外10名 漁協運営 漁業概況 青年活動 漁業技術 水質汚濁
6	15.16	20.50	4.45	75 漕 (8時)	" 香住	夜航海 兵庫県香住町香住漁協 8.30— 13.00 組合長 青年部2名 組合運営 漁業概況 青年活動 漁業技術
"	"	13.30	14.10	54 漕 40分	" 紫山	同上。紫山漁協 14.20—17. 50、組合長外3名 青年部 2名 組合運営 漁業概況 青年活動 漁業技術
7	17.18	19.50		45 漕 4.00	下関	下関市向け 途中下関市 (漁業水産機関視察) 停泊 下関市魚市場、水揚状況、大洋漁 業並に大漁漁業ソーセージ加工場 視察、長府水族館視察
9	19	4.00	10.45	40 漕 6.45分	下関 福岡	停泊 市内視察 (慰勞の為自由行 動)
10	20	4.05				帰途につく
11	21		8.30	2 漕 12	鹿児島	鹿児島入港 船上に於て閉会式 開散

※ 視 察 概 要

(一) 漁業概要

(1) 勝本漁協

町内勢力 戸数 2169ヶ 人口 10,960人  
 職業別勢力 農業 1091ヶ 漁業 618ヶ  
 商業 264ヶ 自由業 80ヶ  
 その他 116ヶ

漁船種類並数 動力船 250隻・1~3屯 6~8HP  
 和船 150隻・1~2kW 発電機設備

漁業種類 一本釣専業が主をなす。(曳縄一本釣漁業)

漁

期

和船 曳網漁業、ブリ、タイ、イカが主体をなす。

イワシの刺網漁業(12月)

7月3日〜9日、曳網漁業

10月〜11月、夜ブリの漁業 } ブリを主体とする。

2,3,4,5月、夜ブリの漁業

5月〜8月、イカの漁業(対馬を漁場とする。)

2〜5月、タイの一本釣漁業(エビ使用)

12月〜翌4月初、イワシの刺網漁業

以上の外、ヨコワ曳網漁業も行うが、管内一本釣、曳網漁業に従事している点特意的な漁業であり、漁具の研究には懸命であり、改良工夫がなされ成功している様だ。各船100〜150萬円の年間水揚がなされている様で小型漁船経営としては可なり成功といえる様だ。

水揚販売専業として、組合に水揚されるが、大澤漁業、日水、唐津(大成水産)の三大会社の露売が大きく、常に高値となり、生産者の為になる点あるとの事。

(2) 黄波戸漁協

町勢力は農業が主体となり、相当の進展、活動を見るが、漁業は黄波戸位で僅かなものである。

漁業は一本釣漁業が主体をなしている。

ブリ立縄 2〜4月(最盛期)

サバタイ 4月〜7月

ヨコワ曳網漁業 12月〜3月(地元並に対馬海域に出漁)

イワシ刺網 12月〜4月(水揚の大半を示している)

漁業技術の特記すべきは

- ① 枝釣漁業(立縄)
  - ② 曳網(サバタイ)
  - ③ ブリの一本釣漁業
- } 別図参照

雑漁業として、鯉貝も若干盛んで、特にうりが盛んの様で、天草、若牙も採れる。

(3) 仁富漁協

○仁富部落戸数 700ヶ 漁家戸数 300ヶ (半農半漁)

○以前は底懸網漁業が主体であつたが現在は、

小型旋網 7統(揚繰化着網)共同出資

小型巾着網 3統 (1統43名、共同出資の点特意)  
 スクイ網 17統  
 一本釣漁業 30隻 (サバ、イカ、タイ)  
 イワシ刺網 25隻 (現在は漁場は15哩以上の沖合)  
 アジ刺網 2統  
 シイラ旋網 7統 (距岸8哩より30哩沖合、2哩間隔に  
 浮子積)

採貝藻類 (ワカメ (200万円) アワビ、サザエ)

漁船数 動力船 150隻 (2-4屯 最大15屯)  
 漁期 スクイ網漁業 = 周年  
 イワシ刺網漁業 = 1月-4月  
 シイラ網 = 7月-9月  
 ヨコワ曳縄 = 6月-11月  
 イカ、サバ釣 = 10月-12月 (対馬海域に  
 出漁)

(巾着) 揚操網漁業 = 周年

以上全漁業にて仁萬漁協水揚は6,600万円 (水揚手  
 数料6分、内1分は漁港修築費)

漁港は才三種漁港

他漁業敷設は郡漁連製氷所 (10屯製氷)

水揚販売にて特徴は婦人カツギ屋が220名にて一日1,000  
 匹の魚を売っている。

※特別優秀漁法を認めず然し水揚は毎年増しているとの事

#### (4) 美保関漁協

△美保関町部落数 350ヶ 内7割が漁家数 (専業)  
 △組合員数 285名 (会員、延縄、一本釣漁業者)  
 漁船数、動力船 85隻 (1-2屯 4-6HP)  
 △年間水揚高 13,843,000 23,429,300円 (延縄、一本釣漁業)  
 △漁業種類 延縄漁業 = 周年 全組合員  
 一本釣漁業 = 周年 " 年間195日操業  
 中型旋網漁業 = 周年 2統

漁種 イワシ、タイ、スズキ、イカ (タイは水揚の6割を占める)

其の他 イワナリ (生500㍻) フカス、天草  
特徴として、餌料により、延縄漁期の変化が認められるが、  
米子パルプ工場の排液問題で打開策に懸命であるが、資源の  
増殖について、築磯、投石事業が盛んに行はれているが他組  
合より進んでいる様だ。

◎漁期を餌料により大別すると

ユウムシ (方言) 1月-5月 タイ類 クロタイ。(初漁期には岡山県より  
購入。春以降は地元供  
給)

シラヒグエビ (方言) 5月以降 //

他漁業 1月-4.5月及11月-12月フリ一本釣。延縄  
1月-3月 ササイカ  
4.5月 甲イカ  
10月-11月 スズキ

特に優秀漁法は認められず、水氷にて鮮度保持してゐるのが  
目立つ。

(5) 香住漁協

組合勢力については業務報告書参照

◎機船底曳網 (一艘曳) が主体をなしているのので、水揚も7割  
までを示す。

漁船は30~45屯型 120~150HPの総数30統(隻)

乗組員 各船9名 総数270名

年間水揚高 700万円-1,200万円

漁期 7月15日-翌5月末 (以東底曳網許可)

◎次に小型漁船に於けるスタイ網漁業が一年間操業しているが、  
特に4-7月が小羽いわしの最漁期で一夜、3屯船で100  
~200㍻を漁獲している。

又之等の漁船はイカ釣 (特に今二年間大漁) ヨコフ曳縄等で、  
本県沿岸漁業に見られぬ活況をもたらしている。(漁船勢力  
は別資料参照下さい。)

小型船の規模としては、申し分ない装置のヤンマーディーゼル  
機関が主体4-6HP、発電機1~2kW を持っている。

(これ以上の光力は漁業調整の上から自粛している様だ)  
ため多角的漁業に従事している。日本海沿岸漁港としては屈指港の様だ。

#### (6) 紫山漁協

香住漁協と同じ漁業形態であり、特にないが、今年度青年クラブ活動の曳縄漁業全国発表入賞のため之が刺激により、青年部に於て、小型漁船多角経営が進められている。

漁村勢力 戸数 720戸 内漁家 65%の専業者である。

漁協組合員数 正会員 318名 準会員 300名

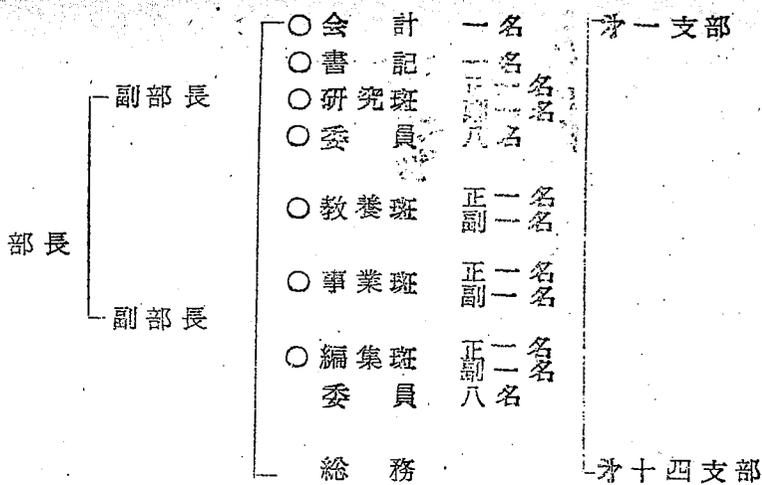
以上の通り完全漁業部落であり、機曳網漁船の乗組員は他村から乗船して、中学卒業生は全員漁家につくといわれる。かゝる点は、天然の良港に恵まれている点からでもある様だ。又組合長の話では毎年2割内外の水揚高が増加しているとの事である。

以上各漁協の漁業について話したが、本県に見られない魚族資源は未だに好漁する状況である。特に小羽いわしの藍漁(大羽いわし等は沖合に出ているが、中型漁船(旋網)によりなされているが、揚操巾着網(和船式)でも大漁している状態)は小型漁船で相当の成績を揚げている。又これらの外、鯛、ブリ、サバ、イカ等の一本釣、曳縄と沿岸の資源も多いようだし、又漁法についても相当に研究されているので増々漁家の経済面にも此等益を齎るいのではないかと感ぜられるが、機曳網漁船だけは沿海州、北鮮領域の不出漁で、打漁をうけているようだが、その他の漁業特に沿岸漁業者は中型旋網(長崎県方面の大型船)の進出がない以上持続されるものと思われされる。

次に各漁協管内の特徴ある漁具漁法について別記します。

#### ※ 青年婦人活動について

##### 1) 勝本青年部



- 団員は新制中学卒業生より35才まで。
- 団精神としては漁業生産精神を根源として政治活動は極力さける様束している。
- 事業研究等に於て、漁村長老を引き込んでボイコットしない事が会を有利に導く方法としている。

1.) 研究班

- イ 漁場調査 (七里ヶ曾根、沖之島、その他沿岸漁場)
- ロ 機関並に航海術の講習会
- ハ 漁具、漁法の技術改良研究発表会並に展示会
- ニ 対馬会島の漁場並に漁港調査

2.) 教養班

- イ 組合意識の昇揚について各種懇談会  
漁協役職員、漁協組合総代、漁協婦人部
- ロ 漁青年幹部と部員の懇談会
- ハ 知名、有志との懇談会
- ニ 生活改善運動
- ホ その他慰安会

3.) 編集班

- イ 毎月機関紙発刊 (既紙参照)

4.) 事業班

- イ 貯蓄の奨励
- ロ 組合敷地の埋立

- ハ 勝本町の障害物除去作業
- ニ 磯洗い並に船立場の清掃
- ホ 各支部の道路並びに下水溝の清掃

### ◎ 婦人部

昭和27年2月設立

○漁家婦人全部加入

○事業は貯蓄奨励が主目的

以上の様な状況の基に相当の実績があげられていて、毎年200名位の内地旅行実施せられている。

### 2) 黄波戸青年婦人部

青年活動は公民館を中心に、館長の助言により青年団長が団員を引込んでいる様で、ぼつぼつと成績が上るのではないかと思はれる。(黄波戸)日置村教育委員会等と共同で幻燈利用し、教育、研究にも熱心になつている様だ。

婦人部は教養につとめ、貯蓄奨励に全力を甚し、小、中学校の貯金等漁協信用部を利用す等、余りめばしいものはない。

### 3) 仁萬青年部

写真参照の綱領に基いて、昭和27年5月設立

設立以前は島根県下でも有名な犯罪村であつたらしいが、村の指導者、青年幹部等に於て、昭和27年の重大犯罪を動機として新規一辺、現在は水産研究所を設立、警察署との防犯協会、野球親善等、有数の模範漁村になつている。

特に青年活動の経費は、お盆の休漁日を一日利用、巾着罟又はシイラ網を使用(罟は全く関係なく青年部のみ出漁)して、その水揚額全部をもらつているとの事(個人よりの会費を取つていない)

### 4) 美保関青年部

昭和27年7月24日設立(県の指示による)

会員は 16才—30才迄 最高43才 (研究熱心な者は年令を問わぬ)

130名 (町内6ヶ地区に分れる)

### 事業内容

① 磯掃除、築磯等を基本事業としている。

② 海水汚濁関係にも協力 (県水試供試) 米子パルプ工場関係漁協との緊密連絡

③ 研究、其の他の各支部毎の会合

漁具、漁法の公開をなしている様だが、漁具にはあまり進歩を見ない。

然し築磯事業には熱心と見える。

### 5) 香住青年部

香住青年部の活動は余り盛んではない。会員60名

主事業、機船曳網の構造、スクイ網の構造、曳網、一本釣漁具等研究されているが、老漁師に負さるとかで、青年の熱意が余りないとの事であるが、沿岸漁業の実態の把握という点では、本県の青年部にな点があり、出漁に対して企画的操業をなしている様で今後の成績が問題と見られる。

### 婦人部

昭和30年8月設立

会員 漁協組合家族は会員 460名

事業 貯蓄奨励 (一家一日10円貯金励行)

日用品販売 (年間300萬円の売上)

### 6) 紫山青年部

香住青年と同じ様であるが、特に沿岸小漁に力を入れている。

昭和27年設立 会員30名 (年令に制限なし)

事業内容 漁ろう部

加工部

研究部 気象部 一 会員全部参加

経営部 二 漁協職員

会費は漁協より支給される。(昭和32年 43万円)

町より補助 12,000円及び但馬漁連より補助

実施事業

1. 気象の標示実施(港前)
2. 漁業方面の標示(漁獲漁場)(郡青年団が一決しているので計画性。出漁がねらい、資料参照)
3. 鮮魚洗条機試作(加工部)
4. 教育情報 機関紙又事業報告書(資料参照)
5. アコヤ貝の養殖(東海水研に依頼)
6. 漁具、漁法の改良(本年度全国大会出場、入賞した)

以上の経過にて特に8名の幹部が熱心な指導をなしてリードしている様だ。青年活動としては勝本、紫山青年部が模範的団体と思はれる。

婦人部は結成をみるのみ

※ ※ ※

### 先進地視察報告記

調査部 又 木 技 師

ま え が き

理想的な先進地視察の目的は先進地漁村の総合的観察調査にあるものであると信ずるのであるが、限られた日程においてこの事をよくすることは困難である。従っていきおい重点且つ能率的な視察をなさねばならぬ。本年度は漁村青少年活動状況及び沿岸一本釣延縄漁業技術問題について共通の調査希望を有する視察団を構成し主として以上の二点に着眼しこれを中心として諸問題に波及して行く視察方針を試みた。

最近漁村青少年クラブ活動が新しき村づくり運動によつて全国的に展開されつゝあるが本県においても卒直に言つて伸び悩みの状態であり、よしんばこのような組織が結成されても線香花火式に終始し確固とした組織をもつて大地に立脚したものは仲々生れて来ない。(言葉を換えて言えばこの運動の如何に困難なものであるか痛感されるのであるが)こうした現象はなにも本県漁村に限つたものではない。全国的にかなり精力的活動している先進地漁村を視察したからといつて本県漁村活動のための活力剤を移入して来たという程の自意識はさらさら持合せてないがただ見てまわつた各県漁村青年活動から最大公約数的なものをわり出してみたい。

さて漁村生活を述べる前に次の事を知つて貰いたい。

- (1.) 今回の視察地が各県より推薦されたモデル地区であつた事。
  - (2.) 各青年達が中学を卒業して出稼ぎすることがなく父祖以来の漁業に従事し得る生活基盤を有すること。
- (2.) の場合は生活の好条件を端的に物語るものであろうし、これを本県の場合と較べて漁村活動を考える場合本質的に優利な基盤の上に起つているものと考えられる。

#### 漁業協同組合と青少年研究会

何もこの問題は目新しいものではないが、たゞ優秀な研究会が如何に組合と密着しているかその濃度の高さをあらためて認識した次才である。組合理事に生年活動の分野を専門的に担当させ相談指導に効果をあげている所。組合管下の漁業(しいらしば漬)を一日間青年研究会に解放し運営資金に供している所。漁村青少年水産研究所という名目のもとに近代的漁村若者衆寄合所を与えて健康な青年達の集会所としている所。組合総会や漁協事務の多忙な時に研究会員に意識的に協力させ労力に対する給附を与えているところ等それぞれ漁村青年対策が講ぜられているが漁村の指導者階級の理解と援助が青年活動の重要な支柱となつている事実は見逃せない。この事は青年達内部活動例えば漁業技術研究の分野まで波及する。漁村に働く青年達は家庭の重要な稼ぎ手である。

彼等同志が一つの組織を持ち合せてもその会を運営する資金研究費を彼等自身の手によつて生み出すことは先づ不可能であろう。新しい漁具を考案するための研究としてそのための経費はもとよりその日の稼ぎを犠牲にする勇氣を必要とするのである。このように経済的に無力に等しい青年組織にそれぞれの便宜を与えて潤滑油の役目を果して呉れるのが組合であり、上層部の人達である。勿論与えられるものをまつてのみ青年活動が成立するわけではない。組合の協力を得るためには積極的に努力する青年達でなければならぬ。長崎の勝本に於ては研究会を組織して運営研究費の問題で壁にぶち當つた。そこでどうしても組合上層部の理解と援助を痛感し全くの別世界にいらっしゃる漁協長を彼等グループに引張り込むことに成功した何もこんなことは珍しいことではないが研究会運営上の必要性から實際的問題として求めて行つた態度はともするとあまりにも漁村青少年活動の仕方というようなパンフレットの運営には参考になる。そしてこの人達が自己の立場をかためつゝ（所謂組合御用機関にならないで）組合の協力を得るまでになつた努力と賢明さを称えたい。

今度の裏日本各地の漁村において青年組織による活動で特に見るべき業績（一般漁民に与えた著しい経済的利益）は見当らないが研究会運営による協同研究のあり方、物の考え方という精神的な所謂建設的な考えを持續してゆくならば将来に於て括目して見る新しき漁村が築き上るであろうことを確信するものである。そして恐らくみて廻つた二三の優良な研究会は遠からずして自己の漁村に経済的なうらおいを与えるであろう。

#### 漁業技術導入と青年研究会

先進地各地に於て使用されている一本釣延縄漁業技術は純粹な意味に於てそれぞれの各地独特な凡そ本県漁具漁法と無関係なものが行われているわけではない。漁具の構造使用法は一見共通的なものとして見ることが出来る。視察各地に於ても他地方より導入したものを工夫改良したものが多し。然しながら導入された漁具漁法を完全に自己消化している点に注意を払わねばならない。

最近に至つて多量にそして能率的漁具が販賣されるようになったがこれを漁具の構造的にも漁業技術的にもそして又環境的にもデジケートさを要請される沿岸釣漁業に應用する場合操業地において独特の研究がなされなければならぬ。

この事は紫山（兵庫県）において同形態の漁具を同時に使用した数々の研究資料によつて明快に立証されている。このことは本県漁村に於てもよく考慮さるべき問題点であろう。特に水試あたりで新漁具を漁村に提供することがあるが、その結果素晴らしい効果をあらわした事例をあまり聞かない。このことは提供する側も研究実施する方にも操業地に最も適応した漁具として完成する途上に座折してしまつたと見るべきではないだろうか。

そしてこれを実現するためには研究のための時間と能力を必要とし更に経済的負担を必要とするのである。

このような意味に於ても新漁具を研究しこれを操業地独特のものとして成果を挙げさせるためには漁村青少年研究団体という新鮮な基盤を必要とするのである。

#### 改良普及員制度と漁村青年研究会

兵庫県に於ていち早く実施されたこの制度は色々な困難な問題に遭遇しながらも今日まで持続されている。とにかく封建的孤立性を有する漁村相互間に適当な媒介役的任務と技術、その他漁村問題に対し指導的役わりを務めさせようとする。この制度は着想としては当を得た考えであるが実際問題としては期待された程の実績を上げ得ない状態のようである。才一の原因は制度そのものに対してよりも普及員そのものが若手職員であるため漁村の諸問題に対して適当な対策を講ずることが出来ない（香住紫山の場合）これは学問としての水産業が確立されていない弱点をさらけだしている現状そのまま特語るものであろうし、又複雑な漁村（水産業）機構に原因するものであろう。然しながらこの制度は漁村青年研究会の連絡、相談にはある程度の役わりを果しているようであるが、これも水試、水産課の所在地より遙かの遠隔地において効果のあること一泊二日程度の土地においては直接水試専門機

職員の指が効果的であるといっている。私見としては改良員及員制度（県費半額、郡漁連半額負担となつている）よりも現存各単協職員について県において毎年一定期間技術講習会、漁村青年育成指導方法等について指導研究会を開催し漁村発展策の一助とした方がより効果的ではないだろうかと思うのである。

※ ※ ※

### 日本海沿岸先進漁村を視察して

指宿郡頰娃町役場 原 口 義 夫

昭和32年度県水産試験場企画に依る標記視察は7月11日より7月21日まで11日間の日程をもつて試験船照南丸に依り汎行され。視察員11名の一人として幸い参加を許されたので始めて見る未知の日本海へ勇躍壮途についた。幸い大した時化にも遭はせず予定通り心行くまで視察し、会員一名の落ゾ者もなく無事先気で帰県できた事は県当局、漁連幹部各位の御配慮の賜物であり厚くお礼申し上げます。以下極めて断片的で皮相の見ではありますが見聞した事の中から特に感じた点を列記して参考に供したいと思います。

#### 〔一〕総合所見

- (1) 日本海は水産資源が比較的豊富である。（ブリ、イワシ、サンマ、タラ、カレイ、カニ、タイ）
- (2) 生産の基盤である漁港、船溜りが自然的に整備している。
- (3) 下関を始め、京阪神、東京等大消費市場を近くに控え、魚価も高価に安定している。
- (4) 以上の要素は一応漁業が安定職業として成立し、青少年の大多数が中学卒業後も郷土に踏みとどまり水産業に従事している。

(5) 此の事はクラブ研究活動も活発で実績を与えている（全国大会1位）

(6) 島根、兵庫県は独自で水産業改良普及員制度を確立し郡単位の或は県下主要漁村に駐在させ計画的指導を実施している。

(7) 漁村にも町助成の下に指導員を設置している（香岐郡、勝本漁協）

(8) 水産試験場が漁場の調査に船や器具を貸与し、技術員も巡回指導して呉れる。

気象研究には測候所からも指導を受けている。

以上要するに環境も良いが、水産振興に対する、県の積極性、町村の援助漁協の運営が適正で、生産の対象である魚族のかい游が季節的に毎年繰りかえされ、本県下廃業同様となつたイフシ流網等立派に経営され、ブリの如きは、日本三大漁場の一つ（長崎県勝本港）を近くに持つて居り今後磯船底曳網巾着等の如き能率漁業の調整を誤まらない限り、生産の維持増強が期待され、魚探器の設置一本釣から小型巾着、和船巾着及びその規模の拡大も意図されていた。只一つ美保の関漁協の悩みの種は対岸（鳥取県）に日本パルプ工場が漁民の反対にかゝらず県が異なるため設置され此の町の生命線であるタイ延縄釣の餌（ニウムシ、白ヒゲエビ）が移動し、生産が減少し「タイ」も沿岸より沖合に移動し種場が遠くなつたとなげいていたが、誠に困つた問題で、一工場の設置に依つて一漁村或いは数ヶ町村が衰亡しつつある事は重大な問題で、これは他人事ではないのであり、工場設定の場所を最初から考えて、湾内に汚水の注入する処は考慮すべきであろう。以下更に組合運営、新しい漁具漁法、青少年クラブについて、特に気付いた点を列記して参考に供します。

#### (一) 組合運営について

##### (1) 資金造成貯蓄の増強

漁獲物販売代金は一応全部貯金に振り替える。

各種水揚天引貯金の励行、漁協婦人部に依る集金貯金年々

実績をあげつゝあり（婦人部活動に15萬円補助した組合もある（香住））

漁船建造の貸付。小型船50萬円大型漁船450萬円を限度として（1組合員当り）貸出しており殆んど期限内償還が励行されていた。

## (2) 組合意識

定期総会の出席は何れも90%~100%で青少年クラブ作成の図解に依り業務報告が行なわれ、半日で終了するとの事。水揚奨励の優勝彰はやらす。毛布を全組合員に一枚づゝ贈つた組合もあつた。

## (3) 魚価安定策

漁獲物は生きて居る中に水氷（海水）の活すに入れ新鮮な状態で入札されるので魚価が非常によい組合もあつた。漁獲物は100%共同販売され、他所揚げは其の伝票を組合に差し出し、此の事は、税務調整に有利となり、時には団体交渉も行なわれ、決して不当な課税を受ける事なく、漁民は堂々と自己の生産の実績を確認され、信用度を高めて居た。組合も入札に参加し時前に市況を調査し、安い場合は決して販売せず、組合自から買取り、鮮魚の共同出荷（自営船に依り）し、婦人に加工させて共同出荷も行つて居た。

## (4) 漁業の形・営形態

小型まき網を九人で平等（1人1株）で共同経営し、親方制度を排除した漁村もあり、進んだ漁民の姿として特記したい。

## (5) 青少年クラブ育成について

クラブの水産技術研究費には惜しみなく金を出す（年40萬円）組合もあり、全国1位に入賞している。

（兵庫県香住町紫山漁村青年クラブ）

## (二)

### (二) 新しい漁具漁法について

(1)より夜釣（今は餌付はやらない）1夜1隻（4人乗り）1台から1台500疋のよりを200尾も釣る。（香岐勝本）

(2)いか釣（天秤の又の処に乾電池投入豆集魚灯（水中灯）を使

用しいかを浮上させて釣る。

- (3)よこわ曳縄釣り改良（全国ノ位）船の速力と船型板の釣り合いを研究し増産していた。

### (三) 青年クラブについて

(1)各漁村共青少年が多く、部門別に研究班を組織し、幹部も仲々熱心で、特に漁協の青年職員が事務的な面倒を見て居り、その漁村は活動も活発で実績をあげていた。

(2)水温と漁獲、気象の研究等漁業の科学的考察を行つていた。

(3)青少年のみが孤立せず、先輩漁師（腕利き）も助言を求め、漁具の展示会も年々出品点数多く、誰れも道具をかくす者が居なくなつた。

(4)年令的制限を外づし業者は誰れでも入会できるように改めた処もあつた。

(5)クラブ資金は町や漁協の助成に依る処が大きいが盆休み3日を2日にし1日を資金造成の爲めの共同出漁を行い、漁獲金は全部クラブ資金に充当する純真なクラブもあつた。

(6)クラブ結成の動機は当初何れも県水産課からのすゝめに依つたそうであるが、現在自主的に活動し、1クラブより全国大会に数名も参加した処もあつた。漁協の理解に依る。

### (7)公民館活動

スライドを製作し、(町の実与)巡回幻燈会を謂き町民の自覚と奮起に依る町の発展を図かつた。(愛郷心の高揚)

30、11 文部大臣表彰

(結語) 以上は視察の一端で大切な処をぬかして居るかと思うので、目下整理中であるので後日よくまとめて報告したい。多額の県費を特に吾々沿岸漁村の爲めに提供し、漁村の中堅指導者としてその再建の推進力たらしめんとする県水産当局、県漁連の意図に応える爲め、私達11名の視察員は視察研修事項を直ちに実践に移し、郷土の振興、県水産業の進展に挺身することを固く誓い今後に於いても此の視察が継続実施されます様希望致します。

## かえるのたわごと

青瀬 協 龍 田 教 彦

十日余り大海に出て見たので、その土産話を書いて見たい。行つて見る迄は名も知らなかつた此の裏日本の漁村にも新しい組合が出来てから5、6年の間に「協同」の偉力は深く根を下ろしていた。まとまつた資金がすぐ借れる組合、魚代で見返つて資材を融通してくれる組合、魚を揚げさえすれば氷や箱の手当も運搬も全てやつてくれる組合、共販でより高く売つてくれる組合、此の様に漁業改革の主旨のねらつた在り方を、大なり小なり、立派に切りまわしていたのである。

かえるは先ず漁民と組合とのこの立派なつながりに打たれた。己の池の中で今迄考えてはいても、現実には見たことも聞いたこともなかつた組合的先進ぶりに打たれた。自分がどうしてもこれだけは欲しいものと考えて居たものを、此等の連中は皆すでに持っているのではないか。かえるは呆然たるばかりであつた。

どうも調子が池の中と違ふ様である。それであちらこちらを見直してやりして考えて見た。

※ ※ ※

しばらくはこうしてあちらこちらきよろきよろしていたが、遂に黙然としてしまつた。そうしてやがて思い當つた様に独りつぶやいた「同じ名の組合であるが、自分の方はどうも変り種らしい」かえるは自分の住んでいる池のことについて今更ながら振り返つた。

正組合員、479名、その出資額247万円と云えば、ちよいと見は一人前であらう。

然しその内容が……である。

「自ら漁業を営む者」より「漁業に従事する者」が圧倒的に多いということ、これは他人から見れば、大變うかつな次矛でこんなわかり切つた答の事柄を、はるばる先進地に出かけて、己れの中で

見、考え、つくづく比較対称して後、初めて自覚したところにかえるのかえるたる以所があるのであるが、ともあれ、変り種ということの端的な現れがこれである。漁業的青瀬の特質につながる現れである。数百年來、祖父伝來な定置漁業を唯一のものとして依存し、之れと盛衰を共にし、他の漁業を省りみなかつた。

今迄の地域の特性は、自然、極少数の網元を「自ら漁業を営む者」として、その他の大半を「かこ」という名の「漁業従事者」に區別しつつ最近の漁業改革を迎えた。

この新しい法によつて「自ら漁業を営む者」が組合自体に置き換えられた限りに於いては、大變喜るとすべきであつたが、「営む者」と従事する者とのわり合は、逆に、前者はなお少なく後者はより多く、偏ることになつた。結論としてこの多数の「従事者」は、従來より資金的にも、或はより重要な技術的な面でも、それに生活収入の大半を依存しようとする能力を持ち得る段階に到らないままに改革によつても、その期待にそはなかつた。

彼等の実態は消極的に農閑期の余剰労働力を転用して、漁業労働による副次的収入を求めるといふ形以上のものでは遂にあり得なかつた。

こうして今日「営む者」はますます少なく、「従事者」はいよいよ多く、「変り種は一層、變つた方に偏つて行きつつある。

※ ※ ※

大は数千萬円、小さきものも幾千円の資本を要し、千差萬別の漁業形態を以つてする「自ら営む」組合員を多数擁し、彼等の漁獲高の増大のみが組合活動の最大の眼目であり、収入である組合は、あらゆる利用設備、あらゆる共販体制を強化するという行き方をまい進する筈だ。

かえるはこの行き方の組合活動を見て来て、その素踏らしさにたまげた次方であつた。

※ ※ ※

青瀬の様な形態は生産組合的漁業組合と考えたい。この種の組合のまい進すべき方向は、「従事する者」の範囲を出ない。多数の組合員に少数の「営む者」の首位にある組合が、より多くの職場と、より多くの漁業労働収入の機会を与えることである。そのためには、安定な漁業を多く「自営」しなければならない。その意味では生産組合の観念を押しはさむべきではなからうか？。

もう少しこの考えを延長して見たい。

生産組合たる面からは企業による収入の安定確実を主目標に、漁業組合たる面からは、組合員への奉仕を主目標に経営せねばならないのではあろうが、前者の面では資本主義的に最善の経営を要求され、後者の面では協同組合観念の母体である社会主義的考慮による経営を求められる当組合理事者の困難さはこの面に集約される感がある。

※ ※ ※

かえるはこゝまで考えて当惑した。そこで考え方のピントを外して、今度は此等の先進組合の持つなやみを想像して見た。大なり小なり「営む者」の多数を擁し彼等へのサービスに専念している正統的組合は最近の漁業形態が科学の分野へ、機械力の利用へ、機動性の増大へと変転する状況に則応して、この「営む者」を指導せねばならない事であろうが、資本と技術をそゝぎ込んで「営む者」を駆りたて、魚を追う程に、魚は海底へ、沖へ、或は雲のかなたへ遠ざかつて行くであろうことである。これをあく迄追いかけて行こうとすると、弱い者から段々、資本的に技術的に脱落するか、或いは企業合同によつて一段と、いさぎよく追いかける力を増大させることであろう。そうしてこの変化の極点は組合自営となるのではあるまいか。事態新くなれば、かえるの称する生産的漁協として青瀬が先進組合である名誉を得る日もあながち夢とのみは・・・・・・。

※ ※ ※

将来というものに話が突入したついでに國の漁業政策にもかえるの口をはさんでみたい。実に馬鹿氣な話ではあるが、漁業を振興すれば、それだけ漁業は消滅するものではなからうか？。

漁業は魚が居るという事を前提としてやっているのであつて、その魚を逆らひ釣つたり、罾したり、もしくはとり損つて追いやつたり、種々に手をつくして、魚が居なまれない様にする事を「振興」ということは、一体何のことなのであろうか。

自然生のもを単にどるといふ、人類生産の最も原始的な形態を今日にして、とどめているのは漁業ばかりではあるまいか。單なる奪りやくから種耕へと、五千年前に切り替へた農業は自然とのギャブ・アンド・テイクによつて、今日、二十数億のぼう大な人口を支え得る能力を持つてゐるではないか。

漁業も最早、漫画の様な逆説的政策から轉換する時機であるまいかと考えるのであつて、その意味でフルシテヨフと李承晩對日本漁業界のいざこざは、漁業資源確保の面からは、五千年前の農業轉換の漁業版であると思へる。

※ ※ ※

吾れに悩みあり、先進の彼等にも悩みあり、そして國にも。然し今度の旅行はかえるが自らの形を覺り得たこと、その進む道を考え得る迄に成長したことに大きな土産を見出したい。

## 視 察 感 想 録

茶 田 修

今度の視察に於いて各地の漁村の漁業形態や漁村青年の組織活動を見聞したのであるが総体的に各地区の漁村青年はその青年一人一人が地位の向上や活動に関心を持ち且つ積極的に又合理的に組織の活動を展開し漁村の発展に大きな役わりを果していると言うことを吾々は感銘せずにはおられなかつた。特に巻岐の勝本漁業青年部や兵庫県の紫山漁村青年の活動はその傾向が強く其の部の組織内にある研究班の事業等からして青年の意気と熱でもつて近代的漁具漁法の研究をし漁村の中核体となり其の基盤である所の水産業の地位の向上に努め健設的にまい進していると云う意欲に対しまだその足元にも及ばぬ又幼稚な吾が漁村青年の活動に遺憾なく思つたのであるがそこでどうしてこれ等の漁村青年が活動を活発に良くやつていけるかという事を今此処で追究して考える時にこれ等の漁村は地理的環境に恵まれていると云う事が観察された。それは全般的に漁業の規模が小さい為青年同志が顔を合せるチャンスが多い所等が指摘されたというのは操業時間が少なく日帰りが出来ると云う事と時化が続くと出漁されない状態にある。又漁村が小さく密集している為連絡が徹底すると云う。この様な観点からして組織員の会合が時間的にも日数的にも多くもたれる為一貫とした活動がなされるものだと思う。会合を多くもたれると云う事は活動の徹底や向上には唯一の条件である。吾が漁村青年と比較した時に漁業規模が大きい為か年間を通じて殆んどが海上で生活しているので会合をもつと云うチャンスが少なく又密接な連絡がなし得ない従つて青年の組織や活動が単なる形式的なものに終つて行くという事が多い。しかしだからと云つて組織や活動を弱体化させたり又停滞させたりする様な事は許すべきでもないのである。視察各漁村青年の活動資料を基礎にあらゆる角度から検討し反省し今後吾が漁村青年としての地位の向上を目指して漁村発展の為にひいては水産業発展の為に努力したいものと思う。

## 中 裏 栄 一

私達は一本釣りの研究の為視察した訳でしたが勝本の青年の如きは研究班事業部教養部等実施された事は誠に喜びに堪えません。黄波戸、仁萬同じく婦人活動等団結此の上もない喜びでした。組合の運営は大體同じ様に思われましたが香住紫山の漁法に就いてはイカ取りの豆電気を使用して能率が良いとの事亦引縄の振板の如く実に良く研究されていましたが環境的にも相違する本県漁場ではやはり相応の工夫をして独特のものをつくる必要があると思いました。実際漁具を使用して現地で操業状態をみたいと思いましたが併し之は届えつて研究すれば判る事です。今後共、各青年団を多く派遣致して研究して載きたいものでした。最後に私達を良く迎えて来られました各組合長及び青年団に感謝し尚亦照南丸船員一同にも感謝しつつ稿を終わります。

× × ×

## 阿 瀧 浜 辰 己

今回県水産試験場の計画に依る視察団の一員として裏日本各漁村の視察を終えましたが沿岸漁業を主体とする裏日本漁業は、漁具漁法の改善、技術の改良に依り年々増強の途にあり各種組織も又活発なる運営を行い沿岸漁業盛栄の一端を背つて居ます。まず単協の組織実体の感想を記すと、恵まれた良港を持ち組合を中心とする漁業を営み協同精神に基づく組織の強化、組合運営に於ては漁民の福利増進に基き各種の設備を置き本県に比較し沿岸漁業不振に依る経済危機の嘆きをよそに金融機関に恵まれ漁具漁法科学的に応用しています。又漁具の改善では優秀漁具は個性があり漁場環境によくマッチして工夫しているようです。組合活動も組合員の福利厚生がよく考慮され、其の上に立つ青少年の育成強化は本県に比して誠に優秀なる運営を行い大いに学ぶべき所多々ありました。組合を中心として、あらゆる面に於ても時代に應じた研究熱には驚く物があります。漁具漁法の改善に於ては部員自から

研究し、その好実績を漁民へと広め老級寡力者の相互の意志を図り改善工夫を行つて居ます。又本県の場合と比して試験場には部員自から乗り込み指導者の発案に応じ研究に実績を上げて居ます。本県に於て今課題として居る漁村普及員制度、先進地におきまして全国に先立ち普及員の下で各種の改善に務めていますが、其の実績は良好で普及員も研究会員であり月一回の普及員と部員との研究会を行い必要に応じて指導の任に当る普及員への助成は県半額地元単協半額わりで郡漁連地区如に設置されている普及員各クラス部員との相互に依り知識の向上を図ると共に水産学の研究に努め、すべての漁業を科学の上に立脚せしめ、これを專業の上に応用し以つて漁具の改良水産統計販路の調査海洋氣象の調査研究漁村經濟の調査地域社会への奉仕文化事業郷土漁業の發展に寄与した実績は實に学ぶべきであり、本県にも普及員設置を望みたいものである。又青年活動に於ては母体となるべき各単協の理解なくしては、發展の榮は望めないと思ひます。又婦人部の動きは活潑なるものであり青年活動におとらぬ運営ぶりでありました。以上視察感想を述べ、これを期に、先進地で学び得た知識を基に本県水産振興にまい進します。

○鹿兒島に帰省すると、古仁屋はどんなところかとよく聞かれた。「市役所から南日本を左にみながらフェニックスの大通りを海岸に向つて降りると川があるでしょう。あの川の辺（ほとり）に平木蒼の家が軒を並べていますネ。まあ一あんな家が集まるところですよ。」と答えておいた。君の住んでいる家はと聞かれたとき、甲突川、高見橋の上流の川淵にそんな家があつた事を思い浮べて例に引いて、南の島の明るさを強調した心算であつた。これは極端な表現だつたかもしれない。人は隣人さえ多くを望まなければよく耐乏生活に堪えるものだと何かで讀んだことがあるが……。この町に瓦葺の家はごく数えるしかない。ところが最近古仁屋に不相応な鉄筋の映画館が完成した。ポスターが蛍光灯でてらされたウインドの前を昨夜往来しましたが天文館を歩いているような錯覚を覚えましたよ。と話している人がいた。

○軍港として栄えた古仁屋の街が戦争中悉やく炭燼に帰したとき奇蹟的にこの分場は助かつた。ペンキで大きく「水試」と書いた看板が米軍飛行士の目にとまらなかつたのでしようかと当時の職員が語っていた。又こんなことも聞いた。

歴代の分場長は高等官でしたから四大祝日の時は司令官より上席に座つたものでしたよ。そしてその頃は試験場だと云えばヤンゴ（料亭）に行つてもいくらかでも賭がきくものでしたがネエーと。随かに古仁屋の街は新しく變りつゝある。

復興計画も四年目を迎えた。毎夏のことながらまさに調査団ブーム。相次いで各大学の教授陣が大島に乗こんでいる。

今年又子供達の夏休みが終り二学期を迎えると、キヤラメルならぬ砂糖きびをぶらさげた小中学生修学旅行団の分場見学の時節である。

○魚探の記録紙を机上に掲げてこゝが220尋線。こゝが160尋線でこゝの急斜のところをさんどは生懸していると思うんだが狭い漁場に民間船が々々々としていて試験船は遠慮して到底寄

付けないのだよといかにも残念そうに帰港したばかりの調査員が日焦した顔をほころぼせる。一本釣でしたらたまには氷水にもありつけるんですがねえ。暑いのに大変な仕事ですよ。かもめ丸の乗組員がこぼしていた。

○八月中旬ともなれば大島の夏も峠を越したようです。その後ハブのうわさもききません。

遙かに皆様の御健康を祈ります。

(T. I 生)

× × ×

片浦漁協 川 畑 享

一本釣りの先進地視察という目的の下に十日間裏日本の各地を視て歩きましたが、年若い僕にとって少し荷が重すぎたような状態でしたけれども僕は僕なりのやり方で研究し調査してきました。まず我々視察団の組織についてみますと、極端に若年の者と年若いものから成立っていたことです。半分は24、5才の未熟者で後の半分を50の坂を越した老壮人で占めていたことは、この度の主眼である鹿児島県沿岸漁業の発展に寄与するという立前から推してその利益は半減したのではないか？この点計画立案も漁村の我々も、もつと反省する必要があると思いました。次に各地を視て廻つて共通した点をあげれば、沿岸漁業が盛んで漁協の運営がスムーズにいつている所は必ず漁協、青年、婦人の三者が一体となつて事に當つている事実です。殊に婦人の活動が活発で、漁業の発展に大きな役わりを果している点は注目し値いするところであり、今後鹿児島県においては沿岸漁業だけに限らず、近海、遠洋漁業振興の一対策として大きく取り上げ充分に検討されなければならないだろう。日程がより有意義に完了したことは船長以下乗組員諸氏の蔭の援助が大なる役わりを果したものと信じお礼を申し上げますとにかく十日間のうちいやな事一つ起らず、和気あいあいのもとに所期の視察が出来たことは結構でした。

私も県水産試験場の計画による裏日本漁業の視察団の一員として参加致しましたが、私は県外沿岸漁業、県外水産研究グループの活動を此の視察によつて実見し、結果変じな地域の漁業青年団にとつてどんなに大切かを痛感し参加したものであります。先づ現地を視察致しまして思ひましたのは才一に地域的にみて其の漁具、漁法が相違し改良研究致しているのは大体我々鹿児島県も同じの様です。長崎県の杵岐勝本の漁具漁法は当地に適当な漁法であり又山口、島根、兵庫各県も地域によつて科学的な改良がされ生産能率を高めている事は云うまでもない事ではありますが、そこで私共が勉強しなければならぬ事は長崎、島根で此の方法で良く取れるのであるから私共の県でも裏日本の漁法で操業して効果があるかという事は疑問で有ると思ひます。鹿児島県には鹿児島県で此の方法を参考に尚研究改良し我が県の最適漁具漁法を見出さねばならぬと思ひます。又長崎県の勝本兵庫県の紫山の漁民の団結心が強く漁協を中心に其の活動や青少年水産研究会に対する助成協力など我々の地域には見られない大規模な研究会の組織が特に私共水産研究会員である者には考慮されます事も痛感しました。尚青少年漁業グループの活動も漁具漁法の改良研究、時期的に漁類操業を有効的に無駄の無い様に漁獲操業出来る様に研究していましたが、私が特に印象に残つた事は勝本水産研究会の組織、山口県の郡単位の改良普及員の設置島根の浅海資源の海藻の加工販売、兵庫県紫山漁業青年団研究内容や此の研究会に対する町漁協の熱心な指導、補助政策は研究会の要求要望に十分答え当研究会をいやが上にも盛上げる源動力で有ると共に沿岸漁業振興の支柱である事は云うまでもない、私共もこの貧弱な研究会を打破するべく、研究グループ各員が努力自分からの組合とせんとする。漁業の対象性を注視すると同時に各沿岸に特有な魚族の出現、浅海資源の状況を把握してこれを有効に漁獲する方法を率先研究し我々青少年クラブ活動が正しく進展し永續性の有る会を運営し研究し努力してこそ我々沿岸漁民の発展策ではないかと思ひ県水試や先進地の指導を導入し努力すべきであると思ふ。

先達地視察に対して、現在これからの漁民は昔の道具で  
 きむやみに働いて漁獲を得るという行き方ではなく、自分達の漁  
 場を良く考え科学的に研究し、漁法技術を改良し確実に漁獲を揚  
 げるといふように、一人一人が昔からの魚とり「こんじよう」を  
 なくして自分の持っている技術漁法を心からぶちまけて話合つて  
 昔なで研究して行くといふように、皆がめざめて行かなくては沿  
 岸漁民の発展は望めないという事が先達地視察して私には一番大  
 事な事であると、つくづく感じました。青年活動も同じく、青年  
 といふふうに切りはなして考えないで、組合あつての青年活動も  
 又青年活動あつての組合といふように、いつも組合漁民の中にお  
 いて理解してもらつて、青年が中心になつて漁法技術を、漁民と  
 ともに研究して行くといふようにして、青年活動が初めて組織さ  
 れ、発展して行くのではないかと思う。青年が先に立つて昔の魚  
 取りこんじようを、じよじよになくしていつて初めて沿岸漁民の  
 発展、青年活動が組織されていくのではないかとつくづく感じま  
 した。

先進地の漁業実態について既、視察に参加された団員に於て、それぞれの立場より感想文として発表されていますので私は先進地の青年クラブ員の熱心な研究の結果漁業経営に多大の潤をもたらしている漁具漁法のうち特に感銘を受け本県への誘惑を感じた。イカ漁業について1〜3紹介いたします。

然しこの漁具が本県に適當か否かは未知数ですが皆さんの漁業技術の中に取り入れて操業を試みていただければ幸甚に存じます。

(一) ブリ曳網 (長崎県壱岐島勝本水産研究寮)

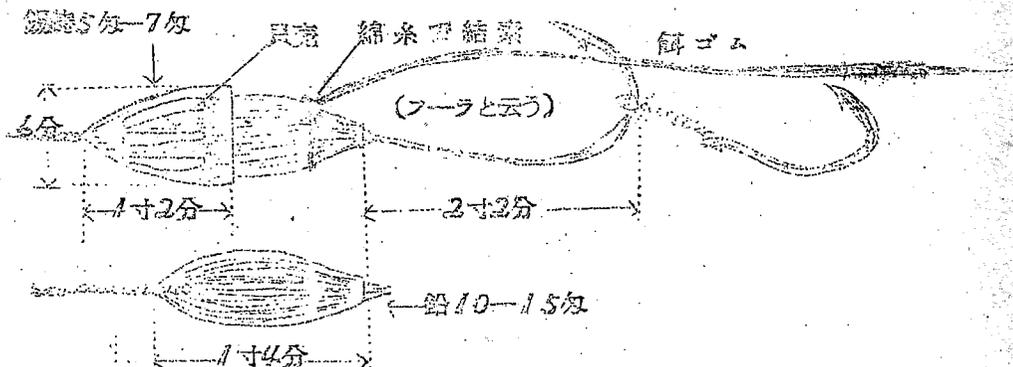
1. 春のぶりは海面に湧き上がり群をなしているが、之を釣獲するのは、仲々の難題である。然し勝本漁協管内の漁業者は完全操業の域に達している様だ。

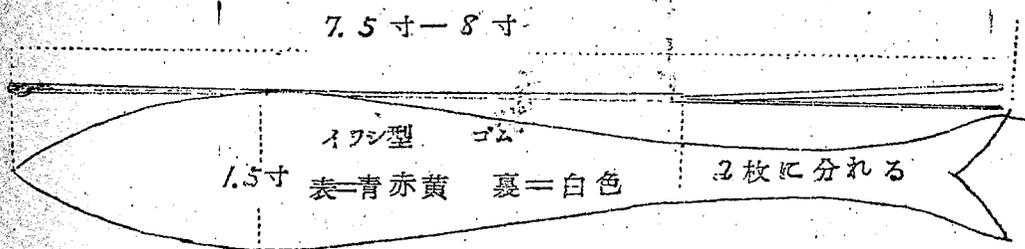
この漁具は釣糸(ヨマ)の關係もさることながら、特にゴムエバ(擬似餌)に重点を置いている。

2. ぶりは索餌をなすときは、その目的物以外のものには全くとらないという事を以つて、鮮魚餌料と併用して操業している点に於ても漁獲度が揚げられている。

3. 勝本漁協管内は12月〜6月の半年間もぶり漁業に従事し、特に12月、1月は壱漁期にて一船40〜60尾(50kg〜150kg)以上を釣獲数十萬円の水揚をなすとの事である。

4. 漁具、漁法について





イ、フーラ（ゴムのふくらみ）

このフーラの加減によつて、泳ぎが左右されるので、本漁具の生命とも云える。ふくらみを多く入れると泳ぎ具合が水面と平行に安定した泳ぎ方となる。

ロ、擬似餌（ゴム）の選択並に装着法

1. 自船の速力に応じて選定する。

速力の早い船は厚いゴム、おそい船は薄いゴムを使う。

2. ゴムの質はバリバリした硬質の引きのある、裂けるもの。

3. ゴムの取りつけは、曳繩した時、左右に傾かないように。

何時も一定の安定を保つ事

4. 釣穴と、ゴム取付（フーラ部）の間隔が短い場合は海中でエバが大振し、反対に長い場合は小振となる。

5. ゴムのフーラの多い時は速力を速くする。反対にフーラの少ない場合には船の速力には影響なく安定している。

6. ゴムの色わけ

晴天の日中は青の濃いもの、曇天の時は赤又は青の薄色。

麻 27号 33打 60~80尋 銀鱗 4~5分 1抱 (50m) 釣元ワイヤ3尋



※ 又は網まがり 同上 ※ 釣針

（魚群の深所の場合は両者とも鉛150匁を使用）

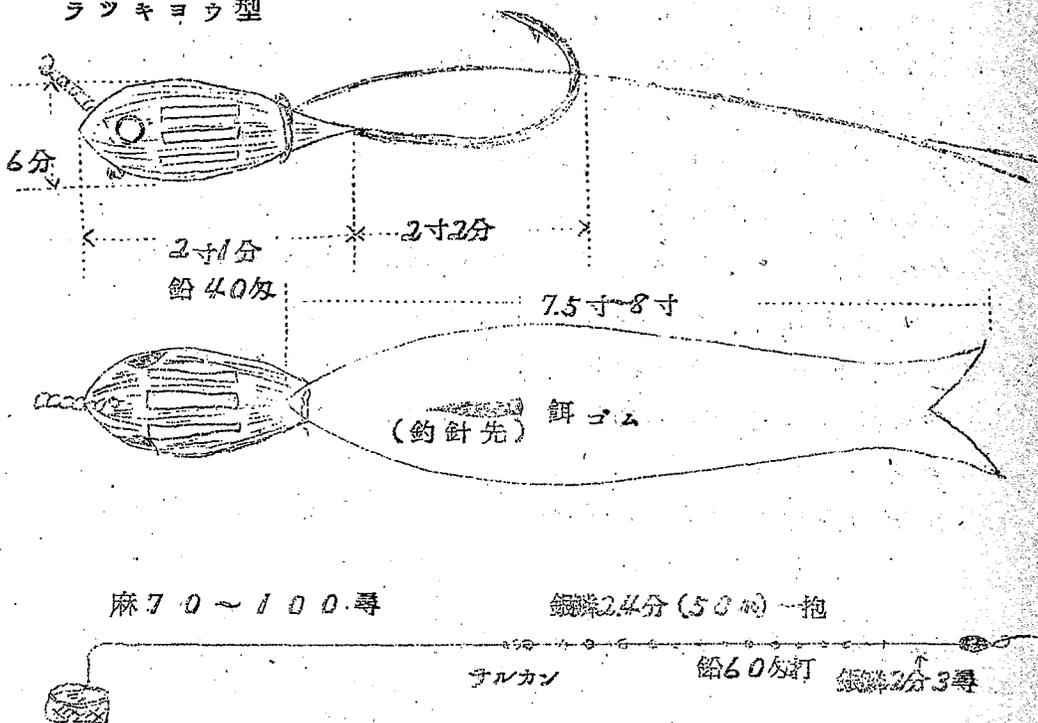
曳縄操法は従来行っている漁法で充分であります。然し前記した通り索餌を行っている場合は鮮魚（イワシ、サシマ）を使用した方法がより能率的との事である。

(二) プリタグリ釣漁具（長崎県壱岐勝本）

この漁具はブリ群が瀬付（曾根）となつた時に使用するものであり、特に擬似餌を使用するのが有利との事であるが、本県のブリ餌付漁法と併用したならばより一層の漁獲が得られるものと思う。

漁場は水深30—70尋位が好条件であり、船は横流し、（潮又は風にそのままにしておく）にて操法するので、経費の面でも十をなすとの事。又錨止にても操業する。漁獲能率も前漁具に大差なき好漁との事である。

ラツキヨウ型

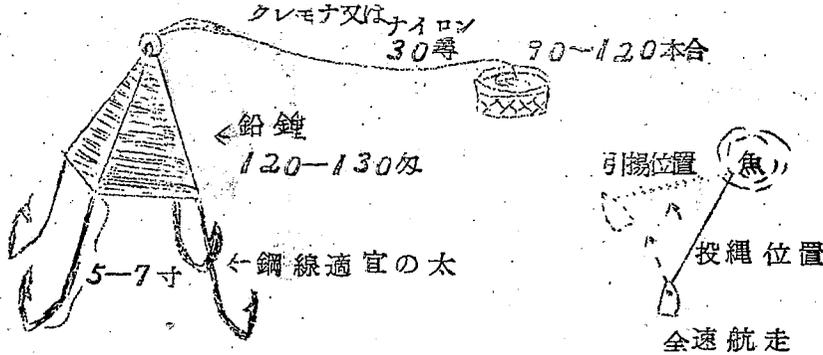


操法は、横流し、又錨止めとするが漁具を投入したならば、海底につくまで縮まないに引上げぬ事。底にとどいたら、少したぐり、釣糸は角度をつける位にしてたぐり上げる事。

### (三) プリの掛釣漁法 (山口県黄波戸漁協管内)

特異な漁具として紹介いたしますが、操法が名人芸的漁法で永年の経験が在るとの事である。漁期は三月四月の春プリの海一面に湧出するも曳縄或は一本釣にも全く餌付なく群をなしている。魚群を対照にした漁法である。

操法は下記の漁具を船上(全速航走)より魚群中に投げ入れ、水面上すれすれに、釣糸をたぐり魚体を引掛り漁獲するという簡単な漁法であるが、瞬間的技術の訓練が必要である。

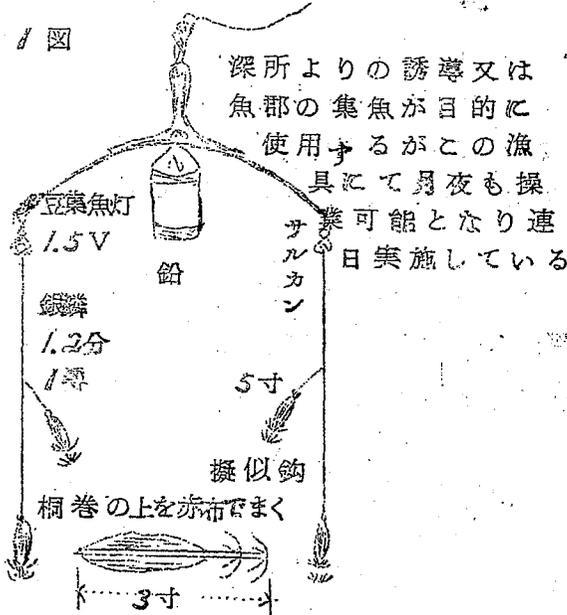


### (四) イカ釣漁具 (兵庫県香住漁協管内) 青年部研究

香住漁業者も以前までは昼釣又は集魚灯利用の夜釣を行っていたが、二年位前発光擬似餌釣のヒントにより研究の結果、電池使用の豆集魚灯を考案試験操業したら、好漁したのでその後全船同漁具使用により組合200隻の漁船にて一夜2萬貫も水揚げするという好漁であつた。然し現在は1萬貫(1日)釣獲水揚げされるような減少の一途にあるとの事でさらに、船上集魚灯の強光力を利用した経営がなされている。そのため漁業調整の上からも小型船の発電機制限をなし2kWまでの使用を厳守し

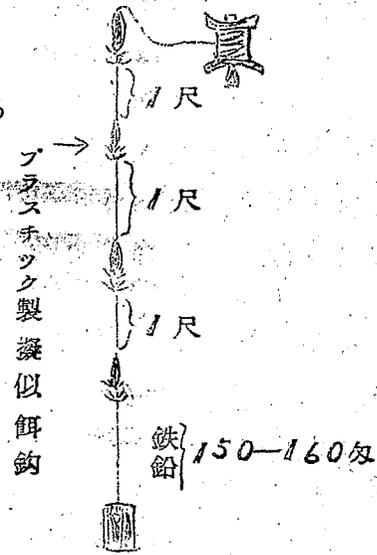
ている様であるが豆燐魚灯の成績は良いとのことであるので  
 使用してみたら如何でしよいか。(今までの最高乗組で1夜  
 にて540貫~360貫が普通漁。但し昭和30、31年度  
 に於て)

1 図



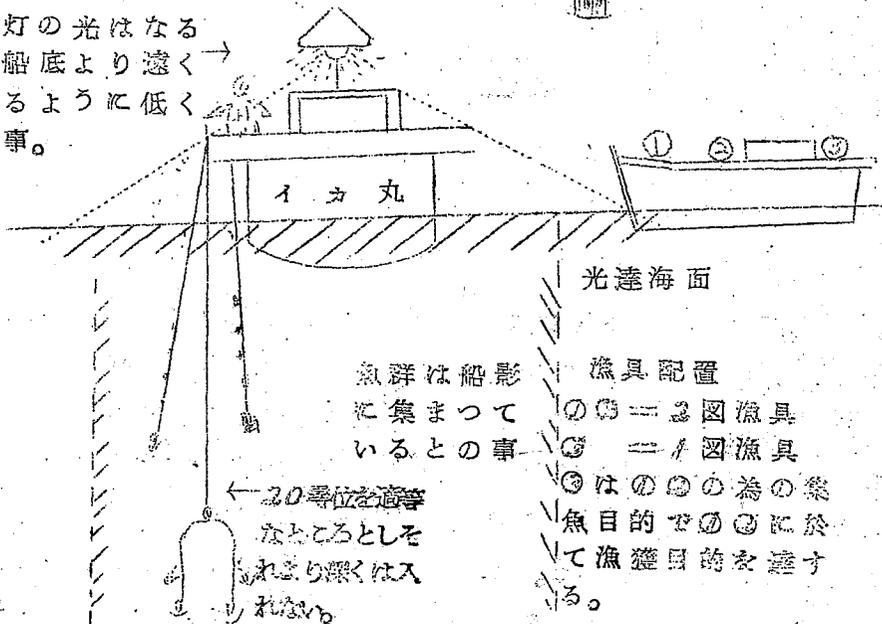
深所よりの誘導又は  
 魚群の集魚が目的に  
 使用するがこの漁  
 具にて月夜も操  
 業可能となり連  
 日実施している

2 図 自ら漁業目的



片舷釣

集魚灯の光はなる  
 べく船底より遠く  
 になるように低く  
 する事。



漁具配置

- ①② = 2 図 漁具
- ③ = 1 図 漁具
- ④は①②③の為の集魚目的で④に於て漁獲目的を達する。

〔 質 問 欄 〕

問) 当組合共同漁業権海底に終戦時遺棄された爆発物件に対して網(底曳)業者は引揚を要望し一本釣業者は漁族のしゅう落に不可欠でありかつ引揚作業に依る海水の汚濁のため漁獲減少を理由に引揚反対を表明しています。掃海作業の一本釣業者に与える影響を科学的に解明願えれば幸甚に存じます。

鹿屋市古江漁協 黒木長之助

答) 一本釣延縄などの消極的漁法と底曳(小型底曳と思われる)のような積極的漁法のちがい、目的とする魚種の相違などが両者間にその遺棄物件をめぐって相反する利害関係を生じさせるものと思われまゝるので掃海をすべきか否かは関係地区内漁民の全体の福利を判断の基準として決定すべき漁業調整上の問題に属しますので一概に可否のお答はできません。たゞ一般的にはその物件が網操業の支障となる程に堆積しており、魚礁としての集魚効果をもっている規模のものと推察されますので、海水の汚濁という事を度外視しても、(この汚濁は一過性のものであり重大な悪影響は殊らないと推察しますが)一本釣漁業にとつてはマイナスとなりましよう。魚礁は一般的に次のような効果があるとされ学問的にも経験的にも支持されており、沿岸漁業振興上の重要な手段の一つに数えられておりますが、その効果を永年に渉つて維持してゆくには時々修理補修を加えねばならないことゝ効果のよい場所の選定がむつかしいのが難点とされております。

- (イ) 上昇流やうづ巻ができてプランクトンの増殖を促す。
- (ロ) 水の上下流通がよいので底棲生物がよく育つ。
- (ハ) 常に外敵から身を守るために物かげにつくという魚の習性を利用できる。
- (ニ) 以上の諸要素が組合わされて通り魚の足を留め魚群の濃度を高めることができる。

〔 調査部 〕

## 場 内 日 記

### 漁 業 部 日 記

- 7月7日 海洋観測のため照南丸出帆31日帰港  
8月8日 串木野中学校夏期生徒実習のためちどり丸串木野向  
け出帆。13日帰港終了  
8月15日 鹿尾島湾海洋観測のためちどり丸6時出帆17日終  
了

### 調 査 部 日 記

- 8月1日 鹿大水産学部との集魚灯効果判定共同試験牛根沖合  
にて実験す。  
8月6日 九萬田技師牛根墨蝶貝核入より帰庁  
8月21日 鹿大より才二次集魚灯試験打合せのため来場

### 養 殖 部 日 記

- 8月1日 海水循環装置について、北山部長港湾課、及び港務  
所に折衝  
8月2日 黒蝶貝核入れのため部員牛根へちどり丸で出向く  
海水循環装置の工事依頼書、建築課へ提出  
8月7日～10日 海人草成熟期調査  
8月13日 海苔糸状体培養海水取換え（場内）  
8月15日～17日  
場内観測、永山、九萬田部員  
8月16日 ティラピア温泉地飼育試験のため、竹元部員宿市  
へ

### 製 造 部 便 り

- 8月1日 移転庁舎（宿直室、倉庫）の取替しのため、こゝに  
あつたいろいろなものを製造工場に移されてこれから  
しばらくは製造作業はできなくなつた。

夏期の特選試験の好機を失う、傷手から早くのがれるには一刻も早く移転工事の完成を希うのみ。

8月5日 指宿の貝柱（イタヤ）煮干品をよりよくするための技術指導を水産課からすすめられた。

元来指宿のこの製造方法は地域の関係上、指宿独特の方法をやっているが、次のことがらを指摘して現地指導を考えたい。

1. 煮熱で剥身する方法は止めて、ショックを与えて、へい死させる臨率的剥身方法はないか。
2. 煮熱液に用うる食塩は純度の高いものを選ぶ。
3. 日乾で一貫した乾そう操作をやるにしても乾そうの過程に不合理な点はないか。

8月8日 全国魚肉ソーセージ協会主催の技術研究会に藤田技師が出席

本場の魚肉ソーセージは関係方面が認めるところで、全国ソーセージ協会は福岡でこの会を催すにあたって特に本場には特別な案内をしてくれたのである。

8月14日 県立種子島農高校 鑑教諭来訪

同校はその教科に地域産業教育として魚肉ソーセージ製造を計画してその研究のためわざわざ来訪された。せつかくの機会に現場の実地公開ができずたゞ若干の資料を提供し、技術要項の説明につとめた。

分 場 日 記

- 7月 11日 マクリ成熟度調査
- 15日 マクリ成熟度調査
- 16日 かつお節日乾かび付  
大島支庁次長 西日本新聞水中撮映班来訪
- 17日 かもめ丸出港(さんご才5次)
- 18日 鹿大和田助教授マベ実験のため来島
- 20日 マベ受精実験(受精するも異常発生多し)24日迄
- 21日 かもめ丸入港。かつお節日乾かび付。
- 24日 和田助教授上鹿
- 25日 かもめ丸出港(さんご才6次)マクリ成熟度調査  
28日迄。
- 30日 かもめ丸入港。マクリ成熟期について才二報印刷発送。
- 31日 マクリ増殖事業指導(瀬戸内町節子、大浜、江仁屋  
離、須子茂、諸鈍)8月5日迄。
- 8月 1日 かもめ丸出港(さんご才7次)  
さんご松(遠隔島市)
- 2日 かつお節日乾かび付
- 5日 かもめ丸入港
- 7日 31年度マクリ増殖効果調査
- 7日 マクリ胞子の放出時刻調査。

### 編 集 後 記

はじめて停車場なり停留所から降りたとなんの漁村印象は殺風景なそして戸惑いに似た妙な気持を抱かせるもので露路裏を曲つて組合のあるところになどりついてはじめてしかるべき漁村風景に接することが出来る。

今度の先進地視察は海からは入つた。山懐に抱かれた港には磯の香があり荒波をさえぎる長堤のある港には重油と魚臭の混交する特有の匂いが漂っていた。組合事務所、魚市場、漁船とこれらを配置した独特の風景は漁村の表玄関の名にはぢない。港近く調査船がさしかかると組合事務所の人達があちこちと走りまわり五、六人の集団が手を振つて迎えて呉れる。突然の来客の立場も忘れてしまう程に共通の悩みに有意義さを感じたそがれの出港時には船が見えなくなるまで懐中電灯を振つて呉れた人達。生馬の眼を抜くまでになががつとした世の中をよそにこの人達が示して呉れた温情は我々の吸収した漁業技術、組合運営の手段に勝る比重でもつて感銘を与えたことを附記して編集後記とする。